

東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故 10年の取り組み



震災遺構「浪江町立請戸小学校」 写真提供：浪江町教育委員会

令和3年11月



福島県社会保険労務士会

発刊にあたって

未曾有の被害をもたらした東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所事故の発生から10年の歳月がたちました。この間徐々に避難区域は帰還が始まり、寸断された常磐線は震災前のように再び開通し、復興道路でもある念願の東北中央自動車道も開通しました。

しかし、いまだ3万人近い県民の方々が全国に避難を続け、さらに国道6号線沿線は10年前のままの時間が止まった光景を目の当たりにします。

福島県社会保険労務士会では、この10年間様々な復興支援活動をしてまいりました。この記録集はその活動を全国の社会保険労務士の会員に伝えるとともに福島県社会保険労務士会の会員へ決して忘れてはならない後世に伝えるべき記録として発刊するものです。

そしてこの記録集の発刊は、大震災の記憶はもちろん原発事故の記憶を風化させないための記録でもあります。

福島県の真の復興はまだ道半ばです。新型コロナウイルスのパンデミックのような大災害はこれからも頻繁に起こり得ます。この記録集が福島県社会保険労務士会の未来を担う会員への道標になれば幸甚です。

2021年(令和3年)11月
福島県社会保険労務士会
会長 宍戸 宏行

福島県震災遺児等家庭相談支援事業の取り組み



福島県震災遺児等家庭相談支援事業の取り組み (遺族年金・労災遺族補償年金等)

福島県震災遺児等家庭相談支援事業 支援委員長 宍戸 宏行

「ごめん下さい。福島県社会保険労務士会の者です。」

被災先のプレハブ住宅の玄関を上がり、まず向かったのは小さな仏壇の前である。そこで手を合わせ、仕事の話に入る。

福島県児童家庭課（以下「福島県」という）から平成23年3月11日に発生した東日本大震災により親が死亡または行方不明となった子供（以下「震災遺児等」という）たちの支援をお願いしたいと福島県から要請があった。社会保険労務士会（以下「社労士会」という）では、震災直後の3月下旬から、避難されている県民に対し、生活にかかわるあらゆる相談を避難先で行っていた。福島県の説明によると、震災遺児等のいる家庭の多くが、安定的な収入の確保、今後の生活・教育資金など生活全般の見通しを立てることが困難な状況にあり、いち早く遺族基礎年金、遺族厚生年金、労災遺族補償年金等（以下「遺族年金等」という。）の保険給付を社労士会の協力を得て行いたいということであった。県から示された支援期間は、平成23年1月24日から翌年3月23日までの4か月間という短期間であった。震災遺児等は、162名である。こんな短期間で、聞き取りをし、書類を作成し、果たして申請までできるのだろうか、という思いの中、早急に支援委員会を立ち上げ、支援できる県内の社労士の募集に入った。幸い26名の社労士が手を挙げてくれた。ただ、使命に駆られて手を挙げてくれた社労士も多く、そのなかには遺族年金等の申請の経験が少ない社労士も多くいたので、年も迫った12月に遺族年金等に係る統一研修を行った。さらに協力を仰ぐため、東北福島年金事務所との打ち合わせ協議を行った。その協議の中で、まずこの事業における遺族年金等の申請については優先的に取扱い、厚生労働省（以下「本省」という）においてもその主旨を酌んでいただき、短期間での決定を行うこと、また、遺族年金等の証書等については原則福島県社会保険労務士会事務局あてに返送してもらうこと等を取り決め、まさに「震災特例」というべきものであった。

支援体制は、何とか年内に整ったものの、震災遺児等の支援が広がらない。それは、震災遺児等の避難先の住所が「個人情報」という壁に阻まれ、この支援取組が情報として震災遺児等の避難先まで届かないことであった。

最終的に、相談があった対象数は、63名（39世帯）、申請手続きは、21名16件にとどまった。しかしながら、避難先は、県内に限らず、東京、長野等にも及んだ。1回の訪問では終わらず、複数回の訪問もあった。更に、消防団員がその仕事の中に被災にあった団員も多く、消防団員等公務災害補償等共済基金（消防基金）の相談助言も行った。

この事業においては、県、社労士会、年金事務所、本省といった協力体制ができ、短時間で（本来決定が出るまで1,2か月のところ数週間で決定）裁定決定され、証書についても社労

士会経由で、担当した社労士が責任を持って本人に届けることができた。

ただ、残念なことは、「個人情報」という壁により、必要としている震災遺児等の家庭にこの支援情報が届かなかったことである。労災遺族補償年金の手続きは、1件のみで、この支援情報がきちんと届いていれば、もっとその支援はできただろうと思えた。

震災は自然が相手なだけに避けて通ることはできない。しかしながら起きた時には、何をすべきか、必要としていることは何か、このことに集中し、そこに支援体制を注ぐことが法を超えての「震災特例」である。このことを念頭において結びとする。

以下、この事業についての概要と報告、相談フローについて記載する。

福島県震災遺児等家庭相談支援事業の実績

福島県と契約書締結 委託期間 平成23年11月24日～平成24年3月23日

【平成23年度】

実施体制等

①支援委員会：8名

委員会 11月24日、12月12日、12月22日、3月13日

事務局会議 12月28日、1月30日、2月15日、2月28日

正副委員長打合せ 2月8日

②相談員：26名（支援委員会委員含む）

③研修：12月12日（福島市市民会館）

伝達研修：12月14日（事務局）、12月22日（LATOV）、1月5日（ゆめサポート）

④福島県児童家庭課と打合せ協議

12月19日、1月19日（福島県庁）、2月14日（事務局）

⑤東北福島年金事務所との打合せ協議

11月24日、3月8日（東北福島年金事務所）

（1）震災遺児等家庭の社会保険等相談支援

面談を希望する家庭に関して、訪問及び電話により年金等の請求の漏れがないよう慎重に相談に応じ、遺族年金が該当しない場合や年金の加入記録が曖昧な場合には、すべて年金の記録を確認することを徹底し、死亡一時金や児童扶養手当に関する助言を行った。また、各世帯の状況により、その他の社会給付（埋葬料、厚生年金基金や祖父母の未支給年金等）、消防基金に関する相談・助言も行った。

①対象児童数 162名

②相談実施児童数 63名（39世帯） 相談総数 延124世帯

①遺族基礎年金の相談 延63名（延42世帯）

②遺族厚生年金の相談 延60名（延36世帯）

③労災遺族補償年金（埋葬給付含む）の相談 延24名（延17世帯）

④その他の社会給付に関する相談 延25名（延15世帯）

⑤その他の支援制度に関する相談 延23名（延14世帯）

（2）震災遺児等家庭の社会保険等手続きの援助

手続き援助実施児童数 21名（16件）

手続き援助実施児童数 21名 (16件)

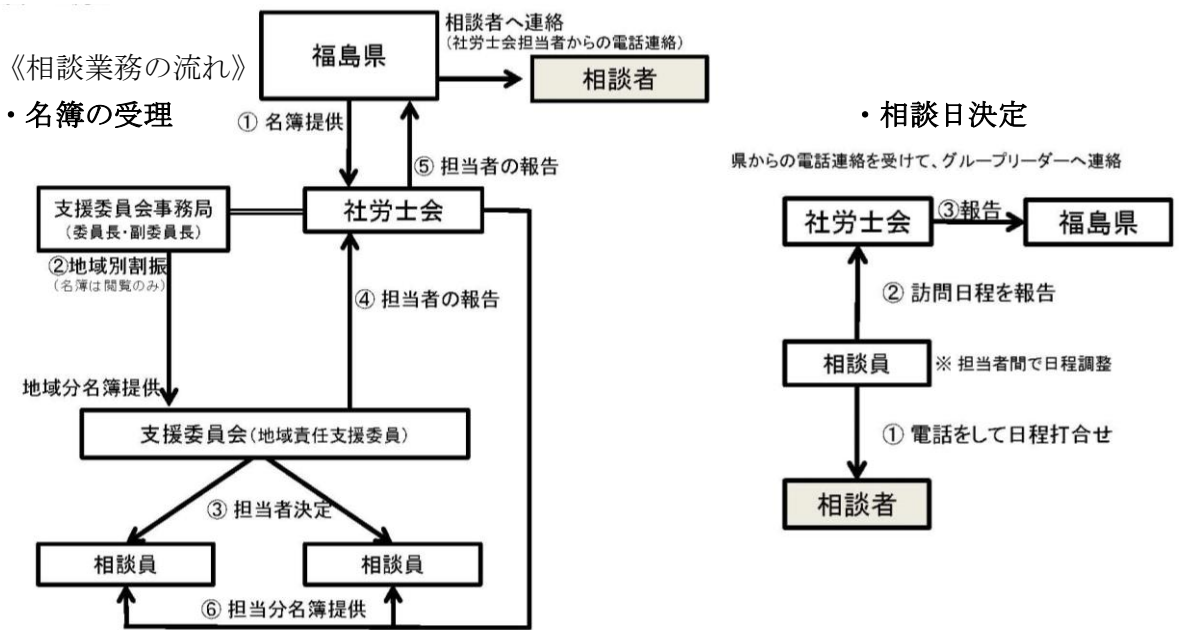
①裁定請求等の手続き	延12名 (10件)
〈内訳〉遺族基礎年金	11名 (9件)
遺族厚生年金	10名 (8件)
労災遺族補償年金 (埋葬給付含む)	1名 (1件)
②年金記録の確認を行い、裁定請求に該当しないもの	8名 (5件)
③その他の社会給付に関する手続き (埋葬料)	1名 (1件)

【平成24年度】

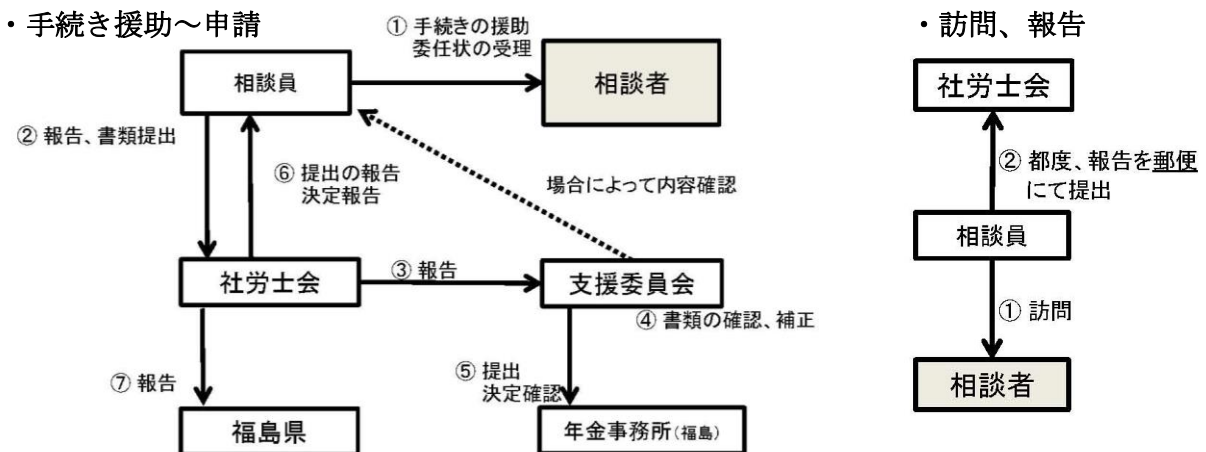
5月15日 「福島県震災遺児等家庭相談支援事業」会議 (ホテル福島グリーンパレス)

(1) 震災遺児等家庭の社会保険等相談、手続き支援

①裁定請求等の手続き	2件
〈内訳〉遺族基礎年金	1件
労災遺族補償年金	1件
①遺族基礎または遺族厚生年金決定通知書及び証書等の説明	7件
③労災遺族補償年金決定通知書及び証書等の説明	2件
④電話相談	8件



《手続き援助業務の流れ》



平成23年度福島県震災遺児等家庭相談支援事業 事業計画書

平成23年度福島県震災遺児等家庭相談支援事業 事業計画書

1 事業の目的

3月11日に発生した東日本大震災により親が死亡または行方不明になった子ども(以下「震災遺児等」という。)のいる家庭(以下「震災遺児等家庭」という。)の多くが、安定的な収入の確保、今後の生活・教育資金など生活全般の見通しを立てることが困難な厳しい状況にあることから、重要な生活基盤となる、遺族基礎年金、遺族厚生年金、労災遺族補償年金等(以下「年金等」という。)の社会保険給付に関し社会保険労務士による専門的な相談体制の整備と手続きの援助等の支援を行い、震災遺児等家庭の生活の安定と児童福祉の増進を図ることを目的とする。

2 業務の実施

福島県社会保険労務士会所属の社会保険労務士が相談員及び援助・支援員となり、下記の業務を実施する。

実施にあたっては、震災遺児等家庭の意向を十分確認するものとする。

(1) 震災遺児等家庭の年金等相談支援

相談員による震災遺児等にとって重要な生活基盤となる、年金等の給付について、専門的な相談支援を行う。

①相談の実施

相談員は、震災遺児等家庭に対し、その意向を十分確認した上で相談を実施する。

相談にあたっては、2人1組で震災遺児等家庭の状況に応じて出張相談等を行う。震災遺児等家庭の事情に応じて、別途面談場所を設けることもできることとする。

②相談記録簿の整備

相談員は、震災遺児等家庭のセンシティブな情報を取り扱うことから、同じ事を複数回聴取することのないよう、震災遺児等家庭ごとに「相談記録簿」に記載する。

③相談記録簿等の報告

「相談記録簿」は、随時福島県社会保険労務士会会長に提出する。

また、月次実績について、「月次報告書」により翌月の5日までに報告する

(2) 震災遺児等家庭の年金等手続きの援助・支援

援助・支援員による震災遺児等家庭の年金等の請求状況を確認し、請求手続きが行われていない場合には、手続きについて援助・支援する。

また、年金等の受給資格がない場合は児童扶養手当等の請求につなげるよう支援する。

①年金等手続きの援助

年金等手続きの利用を妨げている要因、課題があれば、その解決を支援して制度の利用を可能とするよう努める。この際、課題の解決についてメリット、デメリット等を明確に示して当該制度の理解を深め、過度な期待を抱かないように説明に努める。そのうえで、年金等手続きの援助を行う。

相談にあたっては、2人1組で震災遺児等家庭の状況に応じて出張相談等を行う。

②年金等手続き結果の確認

援助・支援を行った年金等手続きの結果を確認し、震災遺児等家庭に今後の利用の留意点について誤解のないよう説明を行う。

②援助結果記録簿の整備

援助・支援員は、年金等手続きの援助の経過、進捗状況、結果について、震災遺児等家庭ごとに「援助結果記録簿」に記載する。

③相談記録簿等の報告

「援助結果記録簿」は、随時福島県社会保険労務士会会長に提出する。

また、月次実績について、「月次報告書」により翌月の5日までに報告する

3 相談員及び援助・支援員の選任と研修

(1) 選任及び人数

相談員と援助・支援員は、福島県社会保険労務士会会長が、会員のうちから当事業の目的、基本的考え方を理解し、相当の経験と知識を有する者から選任する。

年金等の相談から手続きの援助を円滑に行うため、相談員と援助・支援員は兼務とし、30名程度選任し福島県に報告する。

また、県外に避難又は移転している震災遺児等家庭に対する相談、手続きの援助についても対応する。場合によっては、その居住する社会保険労務士会に協力を求め、当該社会保険労務士会会長が推薦する者を相談員及び援助・支援員として派遣し、相談、手続きの援助を行う。

必要に応じ、相談員及び援助・支援員を増員した場合は、その都度、福島県に報告する。

(2) 研修

当事業が円滑に実施できるよう相談員及び援助・支援員に当事業の趣旨、目的、実施方法等について研修を行う。

特に、震災により親が死亡または行方不明になるという痛ましい経験を背負った児童が、様々な事情の下にいろいろな課題を抱え生活していることを踏まえ震災遺児等家庭との信頼関係を確保し、慎重かつ粘り強く社会保険制度の活用を提案し支援すること、知り得た個人情報の取扱いに関して十分な研修を行う。

4 関係事業、関係機関との連携

福島県(児童相談所等)、市町村、その他団体等が実施する震災遺児等家庭支援事業との事業関連連携を図り、労働局(労働基準監督署)、日本年金機構(年金事務所)、市町村年金所管課等の社会保険関係機関と密接な連絡・調整の下実施する。

また、子どもの心のケア事業を実施している各機関、福祉団体、NPO法人、教育委員会等と密接に連携して、慎重に震災遺児等家庭の心情を推し量りながら実施する。

5 個人情報の取扱い

「個人情報取扱特記事項」を厳守するとともに具体的な取扱いについて以下のとおりとする。

(1) 受領書の作成

個人情報を取り扱う際には、必ず「受領書」を作成し、受領年月日、内容を記載し、受領者が署名する。

(2) 保管等

個人情報が記載された資料等については、厳重に管理、保管する。

なお、事業終了後、個人情報が記載された資料等は、福島県の指示に従い返還する。

6 実施体制

(1) 支援委員会

福島県社会保険労務士会の役員、地域ごと(福島・郡山・会津・いわき・相馬)に相談員及び援助・支援員のリーダーとなる者を構成員とする支援委員会を設置する。

支援委員会は以下の業務を行う。

ア、事業計画の策定

イ、具体的な事業の実施計画の策定及び推進

ウ、その他事業実施に必要な業務

(2) 支援事務局等

当事業の事務局として支援事務局を設置する。

支援事務局には、福島県社会保険労務士会の役員4名を配置する。

その他、事務を担当する事務担当者を配置する。

支援事務局は、以下の業務を行う。

ア、福島県等との連絡・調整

イ、具体的な事業の連絡・調整

ウ、当事業に関する事務

エ、各種報告書の確認・作成

オ、会計事務

カ、その他当事業に必要な事務

Ⅱ 福島県社会保険労務士会の復興支援活動等

平成23年度～令和2年度

平成23年度

2011年3月～2012年3月

福島県社会保険労務士会の状況

平成23(2011)年3月11日、福島県社会保険労務士会では、午前中に福島県社会福祉協議会を鈴木健夫会長と草野有道常任理事が訪問し、労働条件審査・診断に関する「労務チェック」について提案した。

午後1時から年金・労働総合相談所（現「福島県社労士会総合相談所」）の第2回研修会をコラッセふくしま（福島市）において開催。22名の会員が下記の講義を受講中、東日本大震災に見舞われた。

<相談所第2回研修会>

「社労士会労働紛争解決センター福島との連携及び基準法等違反事案の取扱い」

説明：年金・労働総合相談所所長 鈴木健夫

「事例研修」 残業代未払い請求、解雇、雇止め等

グループ討議、発表、講師からの助言と講評

講師：弁護士 木村恵子（安西・外井法律事務所）

公共交通機関がストップする中、受講者それぞれ何とか帰途についた。木村弁護士は、新幹線の運休により福島ビューホテルに一時避難された。

【県会事務局】

被害状況：書庫一部破損、ブラインド一部破損、パーティション一部破損

平成23年3月13日 電気復旧

14～15日 水道の断水、停電等により業務時間短縮（9：00～15：00）

14日 電話・インターネット回線復旧

18日 水道復旧

16～23日 福島第一原子力発電所事故の水素爆発（3月12日、14日、15日）による放射能の飛散等のため自宅待機

25日 会員の安否確認

4月21日 会員の被害調査

【街角の年金相談センター福島】

平成23年3月17日（午後3時以降）及び18日

福島第一原発水素爆発事故による放射能汚染及び水道断水のため休止

【各年金事務所の年金相談業務】

平成23年3月14～31日 相談員の派遣を中止

【災害対策特別委員会】

平成23年4月8日設置（第5回理事会にて決定）

委員長 鈴木健夫会長

副委員長 金子昌明・菅野隆・富田力也・宍戸宏行副会長

委員 草野有道・武田昌之常任理事、佐藤勝之・箱崎忠・蓬田信一理事（支部長）

1. 行政、連合会、団体等への要請

- 平成23年4月8日 福島労働局安定部へ申入れ（ハローワークの窓口混雑解消について）
 4月18日 連合会災害対策本部へ出席、被害状況報告並びに要望書提出
 4月20日 福島労働局長、福島県、年金事務所へ要請（特別措置等の情報提供について）
 6月9日 「被災者就労支援、雇用創出の公共事業における雇用の質の確保」についての福島県知事、業界団体等へ申入れ
 6月15日 福島労働局監督課（「被災者就労支援、雇用創出の公共事業における雇用の質の確保」について）
 6月14日 連合会より今後の東日本大震災復興支援について提起
 7月11日～15日 相双地区被災11市町村及び商工会議所、中小企業団体中央会等への無料相談会実施の申し入れ

2. 無料相談会

- 無料相談会数：237ヶ所
 協力会員：87名（延413名）
 相談件数：341件

(1) 避難所における無料相談会

- 実施期間 平成23年4月2日～5月5日 県内避難所19ヶ所
 相談件数 154件
 協力会員 37名（延82名）

支部	月日	場 所	相談件数	相談員
福島支部	4月2日	福島商業、福島高校	20 件	3 名
	4月3日	パルセ飯坂、福島北高校	30 件	5 名
	4月5日	福島東高校、福島県立工業高校	15 件	5 名
	4月8日	自治研修センター	1 件	5 名
	4月9日	あづま体育館	10 件	9 名
	4月10日	あづま体育館、十六沼体育館、パルセいいざか	15 件	9 名
	4月30日	伊達市体育館	6 件	6 名
	5月1日	梁川体育館	8 件	8 名
	5月8日	JICA二本松	5 件	5 名
郡山支部	4月16日	ビッグパレットふくしま	18 件	7 名
いわき支部	4月9日	平工業高校	12 件	9 名
	4月16日	中央台南小、中央台公民館	12 件	10 名
白河支部	4月20日	那須甲子青少年自然の家 (ワンストップサービスと共催)	2 件	2 名

(2) ワンストップサービス出張相談等への協力（福島労働局労災補償課）

- 実施期間 平成23年5月10日～6月2日 延24日 県内避難所等34ヶ所
 相談件数 7件

協力会員 16名 (延24名)

平成23年 5月16日 福島労働局労災補償課より労災補償制度の周知・請求促進の業務の協力要請

5月18日 福島労働局監督課より未払賃金立替払制度に関する調査員等の協力要請

(3) 社労士会 労働・年金相談ほっとキャラバン（無料相談）の実施

平成23年 5月2日 連合会による「社労士会労働・年金相談ほっとキャラバン」打合せ会（仙台市）

実施期間 5月18日～6月19日 県内避難所24ヶ所及び埼玉県加須市 計25ヶ所

相談件数 90件

協力会員 68名 (延124名)

広 報 5月17日 民報、民友、NHKを訪問

	相談日	曜日	時間	施設名	市町村	避難者数	相談件数	相談員数
1	5月18日	(水)	10:00 ～15:00	磐梯七つ森センター	磐梯町	270	8	5
2	5月20日	(金)	10:00 ～12:00	農村環境改善センター	会津美里町	84	6	4
3	5月21日	(土)	10:00 ～14:00	新地小学校	新地町	120	0	5
4	5月22日	(日)	10:00 ～14:00	アットホーム大玉	大玉村	113	6	6
5	5月22日	(日)	10:00 ～14:00	中村第二小学校	相馬市	119	2	4
6	5月22日	(日)	10:00 ～14:00	中央台東小学校	いわき市	46	0	5
7	5月25日	(水)	14:00 ～17:00	三春町町民体育館	三春町	81	3	5
8	5月27日	(金)	13:00 ～16:00	那須甲子少年自然の家	西郷村	120	3	6
9	5月28日	(土)	10:00 ～14:00	パルセいいざか	福島市	83	5	6
10	5月28日	(土)	10:00 ～14:00	スポーツアリーナそうま	相馬市	80	0	4
11	5月28日	(土)	10:00 ～14:00	ビッグパレットふくしま	郡山市	957	6	6
12	5月28日	(土)	10:00 ～14:00	磐梯青少年交流の家	猪苗代町	100	0	4
13	5月28日	(土)	10:00 ～14:00	南の森スポーツパーク	いわき市	62	4	5
14	5月29日	(日)	10:00 ～14:00	中村第一中学校	相馬市	80	3	6
15	5月29日	(日)	13:00 ～16:00	平体育館	いわき市	122	0	5
16	5月29日	(日)	10:00 ～14:00	リステル猪苗代	猪苗代町	800	8	4
17	6月2日	(木)	10:00 ～14:00	郡山市青少年会館	郡山市	140	4	5
18	6月4日	(土)	10:00 ～14:00	農業総合センター	郡山市	86	3	5
19	6月4日	(土)	14:00 ～16:00	船引町旧春山小学校	田村市	170	4	3
20	6月4日	(土)	10:00 ～14:00	原町第一小学校(原町区)	南相馬市	110	3	5
21	6月5日	(日)	10:00 ～14:00	内郷コミュニティセンター	いわき市	48	6	5
22	6月7日	(火)	10:00 ～14:00	福島県自治研研修センター	福島市	130	1	4
23	6月18日	(土)	10:00 ～14:00	原町第二中学校	南相馬市	149	7	5
24	6月18日	(土)	13:00 ～16:00	双葉町 埼玉県加須市旧騎西高校	埼玉県	950	4	6
25	6月19日	(日)	10:00 ～14:00	石神第一小学校	南相馬市	84	4	6
						5,104	90	124

社労士会
労働・年金相談ほっとキャラバン

相談会場・相談風景



2011. 5. 22 中央台東小学校 (いわき市)



2011. 5. 25 三春町町民体育館



2011. 5. 27 那須甲子少年自然の家(西郷村)



2011. 5. 28 ビッグパレットふくしま (郡山市)



2011. 5. 28 スポーツアリーナそうま



2011. 5. 28 南の森スポーツパーク (いわき市)



2011. 5. 28 磐梯青少年交流の家(猪苗代町)



2011. 5. 29 リステル猪苗代



2011. 6. 2 郡山市青少年会館



2011. 6. 5 内郷コミュニティセンター

社 労 士 会

労働・年金相談ほっとキャラバン による無料相談会のお知らせ

東日本大震災による被害を受けられた皆様に心からお見舞い申し上げます。皆様の生活が一日も早く回復されるよう、「社労士会 労働・年金相談ほっとキャラバン」が、雇用労働問題、健康保険・年金等に関する出張無料相談会を開催します。

このようなご相談にお答えします

- ・ 会社が倒産してしまい、働くことができない。
- ・ 避難生活を余儀なくされ、国民年金の保険料が納められない。
- ・ 地震によるケガで入院しているが、医療費が払えない。
- ・ 仕事中に地震・津波にあい、ケガをしたり、亡くなられた場合。
- ・ 会社を休業する間、従業員に給料を払えない。
- ・ 雇用調整助成金について詳しく知りたい。
- ・ 各種届出用紙がほしい。

こちらでお受けします

予約不要
無料です

■会 場：福島県自治研修センター
 ■相談日：6月4日(土)
 ■時 間：10:00 ~ 14:00
 社会保険労務士が相談をお受けします。

全国社会保険労務士会連合会
 福島県社会保険労務士会
後援 厚生労働省 福島労働局

労働・年金相談ほっとキャラバンのチラシ



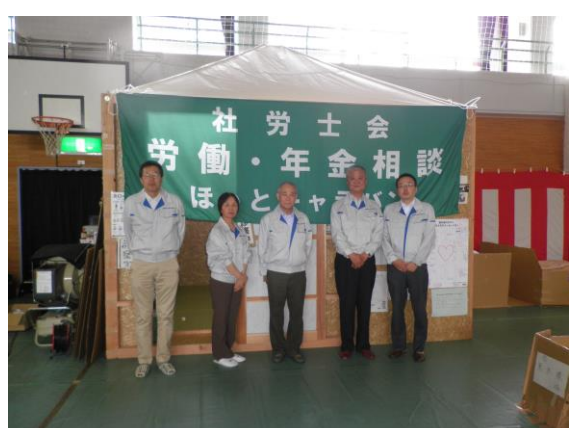
2011. 6. 4 農業総合センター（郡山市）



2011. 6. 4 船引町旧春山小学校



2011. 6. 18 旧騎西高校（埼玉県加須市）



2011. 6. 19 石神第一小学校（南相馬市）

(4) 町ぐるみ避難の市町村に対する被災者支援相談会

実施期間 平成23年8月2日～平成24年3月31日

実施市町村 10市町村

相馬市、南相馬市、広野町、大熊町、楡葉町、双葉町、葛尾村、富岡町、川内村、浪江町の役所または仮設住宅集会所

※ 相馬市、南相馬市は、消費者庁による「東日本大震災による被災地への専門家派遣事業」を活用し実施。

実施市町村等への協力要請

7月11日 飯舘村、浪江町

7月13日 広野町

7月14日 双葉町、大熊町、楡葉町、葛尾村、相馬市、南相馬市

7月15日 富岡町、川内村

7月11日 中小企業団体中央会、商工会連合会、商工会議所連合会

被災者支援相談会のオリエンテーション

福島支部 8月20日 郡山支部 8月22日 会津支部 8月9日

いわき支部 8月19日 相馬支部 8月12日

実施回数 159回

協力会員 53名 (延183名)

相談件数 90件

広 報 9月3日 (民報)、9月4日 (民友) 新聞広告掲載

9月16日 民報、民友、NHKを訪問

福 島 民 報 2011年(平成23年)9月3日(土曜日) (14)

雇用 労働 年金

被災者支援相談会

相談無料

Fight!
Fukushima!

復興に力を!!

社会保険労務士は、福島原子力発電所事故等により、長期の避難を強いられている被災者の困りごとの解決などを手助けすることで、地域の復興・被災者の生活再建・中小企業の再興を支援したいと考えております。

※11月以降も実施します。

※電話でのご相談は、
024-526-2270 (専用)

個別労働関係紛争を簡易、迅速、低廉に解決(和解の仲介)
社労士会労働紛争解決センター福島
(法務大臣特任第49号、厚生労働大臣特任第15号)

相談の事例

- ・ 仕事中(避難中)に津波にあいづが(死亡)をした。労災保険や遺族年金の手続きは?
- ・ 震災(原発事故)で会社が休業(閉鎖)している。失業給付を受けているが、この先不安だ。どのようにしたらいいのか。
- ・ 会社から退職の話が出ている。どのように対処したらいいのか。
- ・ 震災で住居が大きな被害を受けた(又は福島原発の警戒区域等に指定された)。健康保険の一部負担金は免除になるか。
- ・ 就職の面接で東京に行きたい。交通費の補助はあるのか。
- ・ 自主避難しているが、会社とトラブルが起きそう。どうしたらよいか。
- ・ 年金を受給している家族が今回の震災で死亡した。何か手続きが必要か。
- ・ 今回の震災で、事業が縮小しており、従業員を退職あるいは休業させざるを得ない。国からの補助券などはあるのか。また退職に際して注意すべきことなどはあるのか。
- ・ 今回の震災によって国からの仕事や町からの仕事が増え、人を雇いたい。何か補助金や注意すべきことなどはあるのか。

相談会実施市町村等(相談会場)	相談時間	開催曜日	開催日
被災者・中小企業支援相談所(福島県社会保険労務士会事務局)	13:00~17:00	水曜日	9月 7日・14日・21日・28日 10月 5日・12日・19日・26日
浪江町(二本松市男女共生センター内)	13:00~17:00	木曜日	10月 6日・13日・20日・27日
相馬市(相馬市役所)	14:00~16:00	火曜日	9月 6日・13日・20日・27日 10月 4日・11日・18日・25日
南相馬市(道の駅南相馬)	13:00~16:00	土曜日	9月 3日・17日 10月 8日・29日
葛尾村(三春町内支え合いセンター4力所)	13:00~17:00	木曜日	9月 15日・29日 10月 13日・27日
大熊町(会津若松市役所(旧会津学園高校))	13:00~17:00	木曜日	9月 8日・15日・22日・29日 10月 6日・13日・20日・27日
楡葉町(会津美里町応急仮設住宅北集会場)	13:00~17:00	金曜日	9月 9日・16日・23日・30日 10月 7日・14日・21日・28日
双葉町(リステル猪苗代)	13:00~17:00	月曜日	9月 5日・12日・26日
広野町(いわき市常盤 元FDK)	13:00~17:00	水曜日	9月 7日・14日・21日・28日 10月 5日・12日・19日・26日

富岡町・川内村は郡山市内で相談会を実施する予定です。相馬市・南相馬市は、国の支援を得ています。

お問い合わせは…
毎週月曜日～金曜日までの
9:30～17:00

年金の裁定請求書・諸変更届の受付、年金に関するご相談は
街角の年金相談センター 福島
(全国社会保険労務士会連合会運営日本年金機構業務委託)

受付時間 平日 8:30～17:15
月曜日 8:30～19:00
〒960-0131 福島市北五内町7-5 (s3372)

〒960-8252 福島市御山字三本松19-3 詳しくはネットで
TEL024-535-4430 福島県社労士会

福島県社労士会 雇用・労働・年金 無料相談のお知らせ

東日本大震災等による被害を受けられた皆様には心からお見舞い申し上げます。大震災、原発事故被害等による、雇用・労働・労務問題、健康保険・年金、助成金等に関する無料相談会を開催します。

このようなご相談にお答えします

- 震災で事業を縮小(休業)している、状況をみて元に戻したいが、雇用調整助成金について詳しく知りたい
- 会社を閉めざるを得ないが、従業員のことなど労務問題をどのように対処したらよいか
- 社会保険料や労働保険料の免除はどのような場合適用になるか
- 震災で住家が大きな被害を受けた(又は福島原発の警戒区域等に指定された)。健康保険の一部負担金は免除になるか
- 作務中に津波に襲われケガ(死亡)をした。労災保険や年金はどうしたらよいか

こちらでお受けします

■相談日：8月～24年1月 毎週水曜日

8月	17日・24日・31日
9月	7日・14日・21日・28日
10月	5日・12日・19日・26日
11月	9日・16日・23日
12月	7日・14日・21日・28日
1月	11日・18日・25日

■時間：13:00～17:00

■場所：福島県社会保険労務士会
福島市御山字三本松19-3
社会保険労務士が相談をお受けします。

電話相談も可

予約不要
無料です

全国社会保険労務士会連合会 〒960-8252 福島市御山字三本松19-3
福島県社会保険労務士会 TEL 024-526-2270

福島県社労士会 被災者支援無料相談会

雇用・失業・労災・労働のトラブル・年金 などのご相談は...

～相談の事例～

- ・ 仕事中(通勤中)に津波に会いケガ(死亡)をした。労災保険や遺族年金の手続きは？
- ・ 震災(原発事故)で会社が休業(倒産)している。失業給付を受けているが、この先不安だ。どのようにしたらいいのかわからない。
- ・ 震災で住居が大きな被害を受けた(又は福島原発の警戒区域等に指定された)。健康保険の一部負担金は免除になるか。
- ・ 就職の面接で東京に行きたい。交通費の補助はあるのか
- ・ 借入滞りしているが、会社とトラブルが続きそうだが、どうしたらよいか。
- ・ 年金を受給しているが、今度の震災で死亡した。何か手続きが必要か。
- ・ 今回の震災で、専業主婦が減少しており、従業員を確保するのは困難さを覚えている。国からの補助金などはあるのか。また退職に備えて注意すべきことなどはあるのか。
- ・ 今回の震災によって雇からの仕事や町からの仕事が増え、人を雇いたい。何か補助金や注意すべきことなどはあるのか。

東日本大震災、原発事故による被害を受けられた皆様には心からお見舞い申し上げます。

こちらでお受けします

■相談日：毎週水曜日
10月5日・12日・19日・26日
11月2日・9日・16日・30日

■時間：13:00～17:00

■場所：広野町湯本支所(元いわき電子棟)
社会保険労務士が相談をお受けします。

全国社会保険労務士会連合会 〒960-8252 福島市御山字三本松19-3
福島県社会保険労務士会 TEL 024-526-2270

詳しくはネットで 福島県社労士会

町ぐるみ避難の市町村に対する被災者支援相談会チラシ

場所	南相馬市		相馬市		広野町(いわき市)		大熊町(会津若松市)		楢葉町(会津美里町)		双葉町(猪苗代町)		葛尾村(三春町)		富岡町川内村(郡山市)		浪江町(二本松市)		年金・労働総合相談所	
	道の駅南相馬2月～市役所		市役所		仮役場		仮役場		集会所(会津美里町)		リステル猪苗代		集会所(三春町)		ビッグパレットふくしま		男女共生センター 仮役場・集会所		事務局	
1	8/20	1	8/2	1	8/24	0	8/18	1	8/26	1	9/5	0	9/15	0	8/10	0	10/6	2	8/17	1
2	8/27	4	8/9	0	8/31	0	8/25	0	9/2	1	9/12	1	9/29	0	8/24	3	10/13	2	8/24	2
3	9/3	1	8/23	0	9/7	0	9/1	1	9/9	1	9/26	0	10/13	1	8/31	2	10/20	0	8/31	0
4	9/17	2	8/30	0	9/16	0	9/8	0	9/16	2			10/27	0			11/10	0	9/14	1
5	10/8	3	9/6	1	9/21	0	9/15	0	9/30	0			11/10	0			11/10	0	9/14	1
6	10/29	0	9/13	0	9/28	0	9/29	0	10/7	0			11/24	1			11/17	4	9/21	3
7	11/12	0	9/20	0	10/5	0	10/13	0	10/14	0			12/8	0			11/24	2	9/28	2
8	11/26	1	9/27	1	10/12	0	10/27	0	10/21	0			12/22	0			12/1	2	10/5	1
9	12/10	1	10/4	1	10/19	2	11/17	0	10/28	0			1/12	0			12/8	1	10/12	1
10	12/24	0	10/11	0	10/26	1	11/24	0	11/4	0			1/26	0			12/15	0	10/19	1
11	2/6	0	10/18	1	11/2	0	12/1	0	11/25	0							12/22	0	10/26	1
12	2/13	0	10/25	0	11/9	0	12/8	0	12/2	0							1/12	1	11/2	0
13	2/20	0	11/1	0	11/16	0	12/18	※1	12/9	0							1/26	2	11/9	0
14	2/27	0	11/8	0	11/30	0	12/22	0	12/16	0							1/14	※5	11/16	0
15	3/5	0	11/15	0													1/21	※10	11/24	2
16	3/12	0	11/22	0													1/28	※4	11/30	0
17	3/19	0	11/29	1													2/9	1	12/7	0
18	3/26	0	12/6	0													2/23	3	12/14	1
19			12/13	1													2/12	※12	12/21	0
20			12/20	0													3/8	1	12/28	1
21			1/10	0													3/22	3	1/11	0
22			1/17	1															1/18	1
23			1/24	0															1/25	0
24			1/31	0															2/1	1
25			2/7	0															2/15	0
26			2/14	0															2/22	0
27			2/21	0															2/29	3
28			2/28	0															3/7	0
29			3/6	1															3/14	1
30			3/13	0															3/21	1
31			3/27	1															3/28	0
合計	18回	13	31回	10	14回	3	14回	2	14回	5	3回	1	10回	2	3回	5	21回	25	31回	24

3. 講演会

(1) 被災者支援特別講演会

日 時 平成 24 年 2 月 28 日 (火) 15:00~17:00
 場 所 コラッセふくしま 多目的ホール他モニター室 4 室
 特別講演 「放射能の人体への影響、除染について」
 講師 東京大学先端科学技術研究センター教授
 東京大学アイソトープ総合センターセンター長
 児玉 龍彦 氏



参加希望者 650名 ※定員を超えてからの参加申込者はお断りしました。

参加者 477名

後 援 福島民報社、福島民友新聞社、
 福島テレビ、福島中央テレビ、
 福島放送、テレビユー福島、
 NHK 福島放送局、ラジオ福島、
 福島県中小企業団体中央会、
 福島県商工会議所連合会、
 福島県商工会連合会

広 報 1 月 12 日 民報・民友新聞広告掲載
 2 月 4 日 「リビングふくしま」
 広告掲載

中小企業団体中央会、商工会連合会、
 商工会議所連合会、関係行政、
 関係士業へ周知依頼、チラシ配布

全国社会保険労務士会連合会 被災者支援特別講演会 入場無料
 東日本大震災復興支援甲斐 被災者支援特別講演会
 放射能の被害から国民と子供、お母さんを守る！
 一福島で除染を実践する科学者 (内部被曝研究の第一人者)のメッセージ
2月28日(火)
 時間 15:00~17:00
 会場 コラッセふくしま (福島市) 4F多目的ホール (福島駅西口より徒歩3分)
特別講演
「放射線の人体への影響、除染について」
 ・福島の子供、お母さんを守る。避難者が一日も早く自宅に帰るために、除染を早く行う。
 ・福島県内の除染状況を減らすため、とるべき措置・指針は、
講師 児玉 龍彦 氏
 ・社会人団体中央会、住居、職場、避難先、避難先へ行くこと、自分の住所、長年住居の二、難を下げたいと申し込みたい。
 ・除染の状況に応じて、避難先へ行くことになる。
 ・(本人も多数のモニタリングを受けることになる場合がある)
 ・モニタリングの結果、この場所が安全かどうか判断できる。
 ・安全かどうか判断できる。安全かどうか判断できる。
 (主催) 福島県社会保険労務士会
 (後援) 福島民報社、福島民友新聞社、福島テレビ、福島中央テレビ、福島放送、テレビユー福島、NHK 福島放送局、ラジオ福島、福島県中小企業団体中央会、福島県商工会議所連合会、福島県商工会連合会、関係行政、関係士業
 取組し、協力会社 福島県社会保険労務士会 TEL.024-535-4430 福島県社会保険労務士会 入場無料



サブ会場



メイン会場

(2) 被災中小企業復興支援特別講演会

- 日 時 平成24年1月20日(金) 14:00～17:00
 場 所 福島ビューホテル(福島市)
 参加者 60名
 内 容 【1部】「東日本大震災とわが社の元気エネルギー事業」
 株式会社アポロガス(福島市飯坂町)
 【2部】特別講演「阪神・淡路大震災被災からの経営再建」
 講師 三ツ星ベルト株式会社(神戸市)
 代表取締役会長 西河 紀男 氏
 広 報 県内の中小企業2,346社へダイレクトメールによりチラシ等送付
 中小企業団体中央会、商工会連合会、商工会議所連合会、関係行政、
 関係土業へ周知依頼



株式会社アポロガス

4. 福島県委託事業「福島県震災遺児等家庭相談支援事業」

平成23年11月24日付で福島県と契約書締結

委託期間 平成23年11月24日～平成24年3月23日

※事業の概要、実績等の詳細については、15ページを参照

5. 高校生支援セミナー

町ぐるみ避難をしている高校(サテライト校)からの希望に対し積極的に高校生支援セミナーを実施した。サテライト校8校から希望があり、難しい環境の中、6校でセミナーを実施した。

実施校 浪江高校(安達高校)、浪江津島校(安達高校)
 双葉翔陽高校(坂下高校、平商業高校、小野高校)
 相馬農業飯館校(教育センター)

平成24年度

2012年4月～2013年3月

1. 行政、連合会、団体等への要請

- 平成24年 7月20日 被災11市町村へ被災者支援の相談（無料）会の継続実施に対する協力要請
- 8月20日 日本司法支援センターから法テラス二本松設置への協力依頼
- 9月19日 福島県商工労働部雇用労政課に中小企業復興支援セミナーへの協力依頼
- 9月30日 日本司法支援センター福島地方事務所二本松出張所（法テラス二本松）開所式
- 10月2日 法テラス二本松で相談開始、相談員の派遣
- 10月22日 東北福島年金事務所に年金の出張相談実施の要請
- 11月2日 浪江町に年金の出張相談実施の要請
- 11月8日 浪江町、東北福島年金事務所と年金の出張相談実施について協議
- 11月19日 東北福島年金事務所と年金の出張相談の実施に伴う実務について協議
- 1月18日 福島県における雇用情勢等について福島労働局職業安定部を訪問（福島労働局）
- 3月17日 日本司法支援センター福島地方事務所ふたば出張所（法テラスふたば）開所式

2. 無料相談会

無料相談会数 143回
 相談件数 115件
 協力会員 50名（延198名）

(1) 仮設住宅における無料相談会

福島支部 : 浪江町 4回

相談件数18件

協力会員18名（延25名）

いわき支部 : 広野町・檜葉町・双葉町・富岡町・大熊町 合計13回

相談件数16件

協力会員15名（延35名）

支部	市町村	相談日	場所	相談件数	協力会員数
福島	浪江町	9月16日	二本松市杉内	4	6
		9月30日	〃 郭内	6	6
		10月14日	〃 安達	7	7
		10月21日	〃 塩沢	1	6
いわき	双葉町	9月23日	いわき市南台250戸	2	3
	大熊町	9月29日	〃 好間156戸	2	3
		10月6日	〃 好間122戸	1	3

	広野町	9月30日	〃 四倉200戸	1	3
		10月6日	〃 四倉103戸	0	2
		10月20日	〃 中央台103戸	0	3
	檜葉町	10月7日	〃 平123戸	0	3
		10月13日	〃 小名浜106戸	4	2
		10月14日	〃 平202戸	1	2
		10月14日	〃 内郷241戸	2	3
		10月20日	〃 平200戸	1	3
	富岡町	10月27日	〃 泉220戸	1	2
	いわき市	11月10日	〃 中央台120戸	1	3
				34件	延60名

(2) 消費者庁の支援事業による無料相談会

相馬市 49回（毎週火曜日）13：00～15：00

相談件数 7件

協力会員 3名（延49名）

法テラス二本松 24回（毎週火曜日）10：00～16：00（1月から10：30～15：30）

相談件数 20件

協力会員 17名（延24名）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
相馬市	回数	4	5	4	5	3	4	5	4	3	4	4	4	49
	件数	0	0	1	2	0	1	0	0	1	0	0	2	7
法テラス 二本松	回数	/	/	/	/	/	/	5	4	3	4	4	4	24
	件数	/	/	/	/	/	/	5	1	6	0	7	1	20
協力会員延数		4	5	4	5	3	4	10	8	6	8	8	8	73

(3) 浪江町役場における年金出張相談会

浪江町の仮設住宅（二本松市）での無料相談会の実施結果に基づき、東北福島年金事務所浪江町での年金出張相談会の実施を要請し、浪江町の協力を得て、東北福島年金事務所職員1名、社会保険労務士1名の2名で年金出張相談を行った。

なお、年金出張相談会の実施について、浪江町の広報誌に掲載し、東北福島年金事務所作成のチラシを配布し、住民への周知を図った。

実施回数 4回（12月から月1回） 10：00～16：00

平成24年12月19日（水）

平成25年1月23日（水）、2月20日（水）、3月21日（木）

相談件数 10件

協力会員 4名

(4) 年金・労働総合相談所

実施回数 49回（平成24年4月～平成25年3月 毎週水曜日）13：00～17：00

相談件数 44件

協力会員 21名 (延61名)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
相談所	回数	4	5	4	4	4	4	5	4	4	4	4	3	49
	件数	6	4	2	4	3	3	5	4	1	3	4	5	44

※第4水曜日は、2名体制

3. 被災中小企業等への支援「中小企業復興支援セミナー」

【相馬】

平成24年11月14日 南相馬市民情報交流センター（南相馬市） 参加者13名

「除染・復興活動に対しての労働安全衛生について」

講師：相馬労働基準監督署担当官

「労災保険について」

講師：草野有道会員

「社会保険について」

講師：亀井浩之会員



講師：相馬労働基準監督署担当官



講師：亀井浩之会員

【いわき】

平成24年11月27日 スパリゾートハワイアンズ（いわき市） 参加者19名、相談2件

「ハワイアンズの歴史と復興の歩み」

～ハワイアンズ経営のバックボーン～

講師：常磐興産(株)

顧問 坂本 征夫 氏

「ふくしま産業復興雇用支援助成金について」

講師：福島県商工労働部

雇用労政課担当者



講師：常磐興産(株)顧問 坂本征夫 氏

福島県社会保険労務士会 東日本大震災復興支援事業

中小企業復興支援セミナー

参加費無料

日時 平成24年11月27日(火) 13:00~16:00

場所 スパリゾート ハワイアンズ

第1部 13:05~14:35
「ハワイアンズの歴史と復興の歩み」
 ～ハワイアンズ経営のバックボーン～
 講師 常磐興産(株) 坂本征夫 氏
ハワイアンズの歴史と復興の歩みについて、復興をいかに感じることができたか、テレビ等で紹介されたフラガールの活躍以外のハワイアンズの取り組みなどを紹介し、今後のいわきの復興・復興を考えます。

第2部 14:40~15:20
「ふくしま産業復興雇用支援助成金について」
 講師 福島県商工労働部雇用労政課担当者
被災地域である復興雇用の復興を支えるため、被災労働者の雇入れした事業所に最大200万円(雇用者1人あたり22万円)を支給する助成金です。この助成金の概要、申請にあたっての留意事項などを説明します。

第3部 15:25~16:00
相談会
相談員 社会保険労務士
 会社の労務管理や雇用、労働問題、助成金、年金などのご相談をお受けします。

定員 50名
申込期限 11月20日(火)まで
問合せ・申込先 福島県社会保険労務士会 TEL 024-535-4430
下記の申込書に必要事項を記入の上、下記の番号へ「入」にてお申込みください。
 FAX 024-535-4430

中小企業復興支援セミナー参加申込書

氏名			
事業所名			
事業所住所	〒		
連絡先	TEL () -	相談	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無

いわき民報 平成 24 年 11 月 20 日掲載



【郡山】

平成24年12月6日 ホテルハマツ (郡山市) 参加者46名 相談1件
 「核害のまちに生きる」 講師：桑野協立病院院長 坪井正夫 氏
 「ふくしま産業復興雇用支援助成金について」
 講師：福島県商工労働部雇用労政課担当者
 「雇用関係助成金について」 講師：郡山公共安定所担当者

【福島】

平成25年2月8日 ホテル福島グリーンパレス (福島市) 参加者82名
 「東日本大震災・原発事故と報道」
 講師：福島民報社 論説委員長 鈴木 久氏
 「ふくしま産業復興雇用支援助成金について」
 講師：福島県商工労働部雇用労政課担当者
 「雇用関係助成金について」 講師：福島公共安定所担当者
 「労働契約法・高年齢雇用安定法等の改正に伴う就業規則等の見直しについて」
 講師：宍戸宏行会員



講師：福島民報社
 論説委員長 鈴木 久氏



セミナー風景

- 【広報】 県会ホームページ掲載（平成 25 年 1 月 31 日）
 福島民報・民友新聞広告掲載（平成 24 年 11 月 11 日）
 いわき民報新聞広告掲載（平成 24 年 11 月 20 日）
 福島民友新聞 郡山版記事（平成 24 年 12 月 3 日）
 いわき、郡山、福島商工会議所会報へのチラシ折込（平成 25 年 1 月 1 日）
 郡山ウィークリー広告掲載（平成 24 年 12 月 1 日号）12,000 部
 福島民報・日経への新聞折込広告（郡山：平成 24 年 11 月 28 日 29,250 部、
 福島：平成 25 年 1 月 24 日 29,850 部）

福島民報 2012年（平成24年）11月11日（日曜日） 8版（20）

東日本大震災復興支援事業

被災者・中小企業 参加無料

震災復興支援セミナー開催

11/14	●セミナー：13:00～16:00 ●会場：南相馬市市民情報交流センター ①「除染・復興活動の安全衛生について」 福島労働基準監督署担当 ②「労災について」 社会保険労務士 ③「震災後の建設業における社会保険未加入対策の徹底」 社会保険労務士
11/27	●セミナー：13:00～16:00 ●会場：スパリゾートハワイアンズ ①「ハワイアンの歴史と震災復興の歩み」 東洋興産顧問 坂本正夫 氏 ②「つくしま産業復興雇用支援助成金について」 福島県雇用労務課担当
12/6	●セミナー：13:30～16:00 ●会場：ホテルハマツ2F 福寿 ①「被害のまちに生きる」 県庁設立病院院長 坪井正夫 氏 ②「つくしま産業復興雇用支援助成金について」 福島県雇用労務課担当 ③「雇用関係助成金」 郡山ハローワーク担当
2/8	●セミナー：13:30～16:30 ●会場：ホテル福島グリーンパレス ①「東日本大震災が「震災事故と福設（仮称）」 福島県社労協会（予定） ②「つくしま産業復興雇用支援助成金について」 地 福島県ハローワーク担当 ③「労働契約法、法年報等労災と労の対応」 3 福島県労働者の見直しについて」 社会保険労務士

電話・FAXで福島県社会保険労務士会に申し込めます。

●男女・労働・年金など電話または面談による対応

毎週水曜日（午後1時～5時）
TEL024-526-2270（専用）

福島県社会保険労務士会
〒960-8252 福島市郡山字三本松19-3
TEL024-535-4430 FAX024-534-5432
http://fukushima-sr.jp

経営者にも働く人にも企業にいい環境を築くこと、企業の健全な発展、労働者の福祉の向上が私たちの願いです。

被災者・中小企業の復興を社労士は応援します

- 除染や復興作業の労働安全衛生の確保と雇用管理
- 労働契約法、労働者派遣法、高齢雇用安定法の改正に伴う就業規則等の見直しと対応
- 建設業における社会保険未加入対策の推進
- 遺族年金、障害年金、労災等の手続き、失業給付、労働条件審査など労働諸法令のコンプライアンス

職場のトラブルも迅速・円満に解決します。
福島県最低賃金総合相談支援センター開設（福島労働局委託）

職場のトラブル、お悩みを円満解決!! あっせん申立費用 無料!!

社労士会労働紛争解決センター福島

解雇、未払い賃金、時間外労働、パワハラなどの労働に関するお悩み、年金のご相談は—

年金・労働総合相談所
TEL024-526-2270

年金請求書の受付、ご相談は、全国社会保険労務士会連合会運営
街角の年金相談センター福島
福島市北五老内町7-5 2F

福島民報 平成24年11月11日掲載

4. 認証ADR機関「社労士会労働紛争解決センター福島」

東日本大震災及び福島第一原発事故への支援として、平成24年7月13日（理事会決議の日）から平成26年7月12日までの2年間（以後、令和4年7月12日まで継続中）、申立費用（申立人負担10,500円）及び手続費用（被申立人負担5,250円）を無料とした。

5. 福島県震災遺児等家庭相談支援事業（相談対策整備）

平成23年度の福島県の委託事業「福島県震災遺児等家庭相談支援事業」について、委託期間以降の平成24年度においても相談対象家庭からの問合せ、手続き後の説明、また未手続分の手続き等を行った。平成24年度の実績等の詳細については、16ページを参照

6. 高校生支援セミナー

平成24年度におけるサテライト校における高校生支援セミナーの実施は下記のとおりであった。

- 実施校 双葉高校（いわき明星大）
 浪江津島校（安達高校）
 相馬農業飯館校（福島明成高校）

平成25年度

2013年4月～2014年3月

1. 無料相談会

無料相談会	184回
総相談件数	107件
協力会員	71名（延236名）
相談員研修	2回 受講者延14名
	平成25年4月19日 事務局 受講者6名
	10月7日 いわき産業創造館 受講者8名

(1) 支部における無料相談会

福島支部	7回	相談件数9件	協力会員25名（延28名）
郡山支部	1回	相談件数1件	協力会員7名
いわき支部	1回	相談件数1件	協力会員5名
白河支部	1回	相談件数4件	協力会員10名

支部	市町村	相談日	場所	相談件数	協力会員数
福島	飯舘村	11月21日	松川第一仮設住宅	1	5
		11月23日	旧明治小仮設住宅	0	3
		11月23日	旧飯野小仮設住宅	1	3
		11月28日	松川第二仮設住宅	1	5
		12月7日	旧松川小仮設住宅	2	5
		12月7日	伊達東仮設住宅	1	4
		12月8日	国見上野台仮設住宅	3	3
郡山	川内村	11月13日	ビッグパレットふくしま (川内村集会所)	1	7
いわき	大熊町	10月8日	大熊町役場いわき出張所	1	5
白河		11月10日	マイタウン白河	4	10
			10回	15件	延50名

(2) 消費者庁の支援事業（専門家派遣事業）による無料相談会

相馬市	48回（毎週火曜日）13：00～15：00
	相談件数 11件
	協力会員 3名（延48名）
二本松市（法テラス二本松）	49回（毎週火曜日）
	10：00～16：00（1月から10：30～15：30）
	相談件数 41件
	協力会員 19名（延49名）
	セミナー 1月21日 講師：立島孝（福島）会員 参加者14名
広野町（法テラスふたば）	15回（8月22日から開始 第2・4木曜日）
	10：00～16：00（1月から10：30～15：30）

相談件数 5件
協力会員 9名（延15名）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
相馬市	回数	5	4	4	5	3	4	4	4	4	4	3	4	48
	件数	0	1	2	1	1	0	0	1	1	1	1	2	11
法テラス 二本松	回数	5	4	4	5	4	4	4	4	4	4	3	4	49
	件数	3	3	4	4	3	4	1	5	4	5	2	3	41
法テラス ふたば	回数	/	/	/	/	1	2	2	2	2	2	2	2	15
	件数	/	/	/	/	0	0	1	2	0	1	0	1	5
協力会員延数		10	8	8	10	8	10	10	10	10	10	8	10	112

(3) 年金・労働総合相談所

いわき市役所 12回 毎月第3火曜日 10:00～15:00

相談件数 5件

協力会員 11名（延12名）

平成25年8月29日 いわき民報広告掲載

年金・労働総合相談所（事務局）

50回 毎週水曜日 13:00～17:00

相談件数 45件

協力会員 23名（延62名） ※第4水曜日は、2名体制

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
いわき 市役所	回数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	件数	1	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	5
相談所	回数	4	5	4	5	3	4	5	4	4	4	4	4	50
	件数	4	4	4	4	1	5	5	2	5	3	4	4	45
協力会員延数		6	7	6	7	5	6	7	6	6	6	6	6	74

2. 復興支援セミナー（無料相談会）

開催回数 5回

総参加者数 121名

総相談件数 3件

協力会員 29名

【郡山】

平成26年2月5日 ビッグパレットふくしま（郡山市） 参加者24名 相談0件

「うつ病の真実」 講師：こおりやまほっとクリニック

院長 白瀧 光男 氏

「除染業務の注意点」 講師：郡山労働基準監督署担当官

「雇用関係助成金」 講師：郡山公共職業安定所担当者

【福島】

平成26年2月7日 コラッセふくしま（福島市） 参加者48名 相談1件

「伸びる会社の労働条件・労働時間管理の要点」	
講師：特定社会保険労務士 岩崎 仁弥 氏	
【相馬】	
平成26年2月12日	南相馬市民情報交流センター（南相馬市）参加者13名 相談0件
「除染業務の注意点」	講師：相馬労働基準監督署担当官
「建設業における労災保険について」	講師：草野智正会員
「建設業における社会保険について」	講師：鈴木慎太郎会員
【いわき】	
平成26年2月21日	いわき産業創造館（いわき市）参加者18名、相談2件
「建設業の社会保険適用について」	講師：鈴木麻衣子会員
「除染作業における労務管理について」	講師：小前典子会員
【会津】	
平成26年3月15日	アピオスペース（会津若松市）参加者18名、相談0件
「これだけは知っておきたい労働法～グレーゾーンとその対応」	講師：弁護士 倉重 公太朗 氏
「社会保険労務士の役割について」	講師：福島県社会保険労務士会会長 金子昌明

3. 東日本大震災報告書発行 平成26年2月12日発行（500部作成）

配布先：会員、連合会、46都道府県会、県内関係行政機関、関係士業他
県内59市町村、国会議員、見舞金寄贈者

4. 連合会主催東日本大震災復興支援講演会への協力

平成26年3月13日 スパリゾートハワイアンズ（いわき市）

オープニング 福島県伝統芸能「山木屋太鼓」

山木屋太鼓 ソロ演奏者 遠藤 元気 氏

特別ライブ 社労士バンドWORKERS！

講演 「企業再生における経営理念の重要性」

アサヒビール株式会社 名誉顧問 中條 高德 氏

参加者 154名 うち福島県会会員等31名、一般参加者28名、連合会・他県会95名
一般・他県会参加者に「東日本大震災報告書」を配付（120部作成）



山木屋太鼓 遠藤元気 氏



社労士バンドWORKERS！

平成26年度

2014年4月～2015年3月

1. 無料相談会

無料相談会回数 188回
 総相談件数 184件
 協力会員 51名（延214名）
 相談員研修 平成26年6月24日 コラッセふくしま 受講者35名

(1) 年金・労働総合相談所の拡大

いわき市役所 12回 毎月第3火曜日
 相談件数 12件
 協力会員 11名（延12名）

年金・労働総合相談所（事務局）

49回 毎週水曜日
 相談件数 64件
 協力会員 21名（延61名） ※第4水曜日は、2名体制

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
いわき市役所	回数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	件数	1	0	1	1	0	1	1	0	1	2	2	2	12
相談所	回数	5	4	4	5	3	4	5	4	4	4	3	4	49
	件数	5	2	7	9	6	6	2	6	4	4	8	5	64
協力会員延数		7	6	6	7	5	6	7	6	6	6	5	6	73

(2) 金融機関との連携（街角の年金相談センター福島協力）

6回（東邦銀行4回、大東銀行1回、福島県商工信用組合1回）
 相談件数 41件（年金37件、労働4件）
 協力会員 11名（延13名）

開催日時	場所	内容	相談員	相談件数
9月2日	東邦銀行/原町支店	年金	会員1名、街角1名	年金5件
9月11日	大東銀行/本店	年金・労働	会員4名、街角1名	年金3件・労働2件
10月2日	県信組合/南福島支店	年金	会員1名、街角1名	年金16件
12月10日	東邦銀行/本店営業部	年金・労働	会員3名、街角1名	年金6件・労働0件
12月11日	東邦銀行/郡山営業部	年金・労働	会員3名、街角1名	年金3件・労働1件
12月17日	東邦銀行/白河支店	年金・労働	会員1名、街角1名	年金4件・労働1件

(3) 医療機関との連携（街角の年金相談センター福島協力）

平成27年1月27日 福島県立医科大学附属病院（福島市）

【相談会】 10:00～16:00

相談件数 4件（年金3件、労働1件）

協力会員 3名
街角センター1名



相談員：左から渡邊浩美、諸橋千恵子会員、渡邊センター長、管野泰寛会員
(福島県立医大病院 臨床腫瘍センター内)

【セミナー】 13:00～15:00

「障害・厚生（基礎）年金の手続について」講師：杉原正雄（福島）

「退職後の医療保険等について」
講師：丹治 勸（福島）

参加者 12名



講師：杉原正雄会員

（4）地域との連携（街角の年金相談センター福島協力）

平成27年2月13日 いわき市立中央台公民館（いわき市）

【相談会】 13:30～17:00

相談件数 11件（年金件、労働件）

協力会員 3名

街角センター1名

【セミナー】 13:30～16:10

「心の健康チェックポイント」

講師：会津中央病院救命救急センター心療内科医師 村山 浩之 氏

「障害年金の手続について」 講師：菊地紀男（いわき）

参加者 8名

（5）消費者庁「専門家派遣事業」への相談員派遣

相馬市 47回（毎週火曜日）

相談件数 15件

協力会員 4名（延47名）

二本松市（法テラス二本松） 48回（毎週火曜日）

相談件数 30件

協力会員 21名（延48名）

広野町（法テラスふたば） 24回（第2・4木曜日）

相談件数 7件

協力会員 12名（延24名）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
相馬市	回数	4	3	4	5	3	4	4	4	3	4	4	5	47
	件数	2	4	1	0	0	1	2	1	1	1	1	1	15
法テラス 二本松	回数	4	3	4	5	4	4	4	4	3	4	4	5	48
	件数	1	0	4	6	3	4	4	1	3	2	0	2	30
法テラス ふたば	回数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
	件数	1	0	3	0	1	0	1	0	0	1	0	0	7
協力会員延数		10	8	10	12	9	10	10	10	8	10	10	12	119

2. 企業向けセミナー

(1) 建設業向け「雇用管理セミナー」（建設業における労務管理改善に関するセミナー）

平成26年11月7日 ビッグパレットふくしま（郡山市）

「雇用契約と就業規則」 講師：村山敦子（福島）

「労働時間管理と賃金」 講師：蛭田邦栄（白河）

「社会保険と労働保険」 講師：渡部裕之（郡山）

共催 福島県建設業協会（処遇改善に関するアドバイザー業務と連携）

後援 福島労働局

参加者 37名

相談件数 2件



講師：蛭田会員



セミナー風景

(2) 一般向け「雇用管理セミナー」

平成27年3月13日 いわき産業創造館（L A T O V）（いわき市）

「原発事故・原発避難の現在とその社会的影響—福島復興を問う」

講師：いわき明星大学人文学部現代社会学科准教授 高木竜輔氏

「雇用契約と就業規則」 講師：塩澤龍造（いわき）

参加者 14名

相談件数 3件

協力会員 4名

平成27年度

2015年4月～2016年3月

1. 無料相談会

無料相談会回数 178回
 総相談件数 161件
 協力会員 48名（延188名）
 相談員研修 平成27年7月9日 コラッセふくしま 受講者12名

(1) 年金・労働総合相談所の拡大

いわき市役所 12回（第3火曜日） 相談 13件
 協力会員 11名（延12名）
 総合相談所（事務局） 48回（毎週水曜日） 相談 85件
 協力会員 22名（延58名） ※第4水曜日は、2名体制

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
いわき市役所	回数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	件数	1	1	0	1	2	1	1	1	3	0	0	2	13
相談所	回数	4	3	4	5	4	4	4	4	3	4	4	5	48
	件数	11	7	4	6	3	8	8	4	8	6	7	12	84
協力会員延数		6	5	6	7	6	5	6	6	4	6	6	7	70

(2) 消費者庁「専門家派遣事業」への相談員派遣

相馬市 47回（毎週火曜日） 相談 16件
 協力会員 3名（延47名）
 法テラス二本松 48回（毎週火曜日） 相談 42件
 協力会員 27名（延48名）
 法テラスふたば 23回（第2・4木曜日） 相談 5件
 協力会員 13名（延23名）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
相馬市	回数	4	3	5	4	3	4	4	3	4	4	4	5	47
	件数	1	0	2	1	0	1	1	1	3	0	3	3	16
法テラス二本松	回数	4	3	5	4	4	4	4	3	4	4	4	5	48
	件数	1	1	4	4	1	4	5	4	8	4	3	3	42
法テラスふたば	回数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	2	23
	件数	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	1	1	5
協力会員延数		10	8	12	10	9	10	10	8	10	10	9	12	118

2. セミナー

(1) 事業主向け「労務管理セミナー」の実施

平成27年12月4日（福島テルサ）

「過重労働防止の労働時間管理」 講師：丹治 勸（福島）

「職場のメンタルヘルス」

講師：日本産業カウンセラー協会東北支部
産業カウンセラー 太宰 伸夫 氏

参加者 : 55名

相談件数 : 3件

相談員 : 3名



セミナー風景



講師：太宰伸夫氏

(2) メンタルヘルスセミナー・相談会の実施

平成28年3月29日（いわき産業創造館）

「メンタルヘルス～心の健康のチェックポイント～」

講師：社会保険労務士・心療内科医師 村山浩之（会津）

「ストレスチェック制度に関する基礎」

講師：日本産業カウンセラー協会東北支部

産業カウンセラー 太宰 伸夫 氏

「ドームいわきベースからいわきの未来を考える」

講師：(株)ドームサプライチェーン本部

チームリーダー 木村 秀禎 氏

参加者 : 54名

相談件数 : 2件

相談員 : 3名

平成28年度

2016年4月～2017年3月

1. 復興講演会の開催

平成29年3月9日（南相馬市民文化会館「ゆめはっと」）

参加者136名（一般107名、会員等29名）

第1部 今こそ創造的復興を

～新たな思考を産業振興の中にどう取り込むか～

講師 一般社団法人福島県中小企業診断協会 会長 渡辺 正彦 氏

第2部 福島における放射性廃棄物のリサイクル化が可能になった

～福島県の環境回復迅速化のために～

講師 東京大学先端科学技術研究センター教授

東京大学アイソトープ総合センターセンター長 児玉 龍彦 氏

後援 南相馬市

広報 新聞広告 平成29年2月23日 広告掲載（福島民報、福島民友）

2月25日 広告掲載（いわき民報）

2月27日 告知依頼（福島民報、福島民友）

2月28日 広告掲載（福島民友）

チラシ 118,500部作成

新聞折込 相双地区 28,350部×3回

（平成29年2月12日、25日、3月3日）

南相馬市 広報誌折込 19,528部

南相馬市教育委員会（保育園・幼稚園、小学校、中学校） 5,245部

相馬市教育委員会（幼稚園、小学校、中学校） 3,132部

相馬商工会議所等関係機関の機関誌折込、配布



会場風景



講師：児玉龍彦教授

2. 事業再開・再生支援事業への協力

官民合同チームが行う避難している事業主が事業を再開・再生の際の支援事業に協力した。

専門家登録 13名

支援依頼 2件（南相馬市2件）

3. 無料相談会

無料相談会回数 179回
 総相談件数 123件
 協力会員 69名（延190名）

(1) 社労士会総合相談所の拡大

社労士会総合相談所（事務局） 49回（毎週水曜日） 相談61件
 協力会員 17名（延60名） ※第4水曜日は、2名体制
 いわき市役所 12回（第3火曜日） 相談13件
 協力会員 11名（延12名）
 広報 平成28年10月5日 いわき民報 広告掲載

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
相談所	回数	4	3	5	4	5	4	4	4	4	3	4	5	49
	件数	4	3	9	5	4	7	3	1	7	7	5	6	61
いわき市役所	回数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	件数	2	2	1	1	2	0	1	2	0	2	0	0	13
協力会員延数		6	5	7	6	7	6	6	5	6	5	6	7	72

(2) 行政機関等との連携（消費者庁「専門家派遣事業」）

相馬市 47回（4月～10月4日火曜日、10月13日～3月木曜日） 相談5件
 協力会員 3名（延47名）
 法テラス二本松 50回（毎週火曜日） 相談34件
 協力会員 25名（延50名）
 法テラスふたば 21回（第2・4木曜日） 相談10件
 協力会員 13名（延21名）

【実績】（相談件数及び協力会員数）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
相馬市	回数	4	4	4	4	3	4	4	3	4	4	4	5	47
	件数	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	1	5
法テラス二本松	回数	4	4	4	4	5	4	4	5	4	4	4	4	50
	件数	2	6	2	1	0	1	2	6	6	1	4	3	34
法テラスふたば	回数	1	2	2	2	1	1	2	2	2	2	2	2	21
	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	3	2	3	2	10
協力会員延数		10	10	10	10	9	9	10	10	10	10	10	11	118

※相馬市役所：8/30台風のため中止

4. 災害協定締結の推進

【災害協定の締結】

福島県 平成28年8月18日 郡山市 平成28年3月16日
 福島市 平成28年10月27日 会津若松市 平成29年1月19日

【自治体等への要請】

白河市（平成28年10月19日）、須賀川市（平成28年10月28日）、いわき市（平成28年12月1日）

【ボランティア相談員】 会員48名

平成29年度

2017年4月～2018年3月

1. 復興講演会の開催

平成30年2月1日（とうほう・みんなの文化センター 小ホール）
 基調講演 ～福島県民へのメッセージ～
 講師 読売新聞特別編集委員 橋本五郎 氏

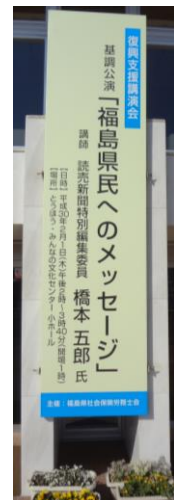
参加者 278名（一般243名、会員等35名） 事前申込者数：364名
 後援 13団体

広報 新聞広告 平成29年12月17日 広告掲載（福島民報、福島民友）
 平成30年1月13日 広告掲載（リビング新聞）
 新聞告知 平成30年1月17日 告知依頼（福島民報、福島民友）
 1月19日 告知掲載（福島民友）
 1月26日 告知掲載（福島民友情報紙「ふくしまゆう」）
 1月27日 告知掲載（リビング新聞）

ポスター 140部作成
 チラシ 177,890部作成
 新聞折込 平成30年1月21日 福島市内70,800部
 1月28日 福島市内70,800部（定員のため折込中止）
 関係行政・団体等配布 12,295部
 （福島市、伊達市、二本松市、桑折町、国見町、県北地区商工会、後援先等）
 福島市教育委員会 22,890部（小学校、中学校）
 市政だより等 福島市1月号、国見町1月19日号「お知らせ版」
 ホームページ バナー作成



講師：橋本五郎氏



2. 事業再開・再生支援事業への協力

登録専門家 13名
 支援依頼 5件（双葉町、富岡町2件、二本松市、南相馬市）

3. 無料相談会

無料相談会回数 182回
 総相談件数 157件
 協力会員 69名（延193名）

(1) 社労士会総合相談所の拡大

社労士会総合相談所（事務局） 48回（毎週水曜日） 相談71件

協力会員 14名（延59名） ※第4水曜日は、2名体制
 いわき市役所 12回（第3火曜日） 相談9件
 協力会員 11名（延12名）

【実績】（相談件数及び協力会員数）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
相談所	回数	4	4	4	4	4	4	4	5	4	4	4	3	48
	件数	4	12	10	5	2	8	3	7	6	3	7	4	71
いわき市役所	回数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	件数	3	1	0	0	0	1	2	1	0	1	0	0	9
協力会員延数		6	6	6	6	6	6	6	7	6	5	6	5	71

※第4水曜日は2名

(2) 行政機関等との連携（消費者庁「専門家派遣事業」）

相馬市 48回（毎週木曜日） 相談16件
 協力会員 3名（延48名）
 法テラス二本松 51回（毎週火曜日） 相談40件
 協力会員 24名（延51名）
 法テラスふたば 23回（第2・4木曜日） 相談21件
 協力会員 17名（延23名）

【実績】（相談件数及び協力会員数）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
相馬市	回数	4	3	5	4	5	4	4	4	3	3	4	5	48
	件数	1	0	4	0	0	2	0	1	3	1	1	3	16
法テラス二本松	回数	4	5	4	4	5	4	5	4	4	4	4	4	51
	件数	0	5	5	3	4	1	1	3	4	7	5	2	40
法テラスふたば	回数	2	2	2	2	2	2	2	1	2	2	2	2	23
	件数	1	0	1	2	2	2	1	2	2	1	2	5	21
協力会員延数		10	10	11	10	12	10	11	9	9	9	10	11	122

4. 災害協定等締結の推進

【災害協定書締結】

いわき市（平成29年5月17日）、白河市（平成29年10月13日）、
 南相馬市（平成30年2月21日）、伊達市（平成30年3月15日）

【災害協定書に基づく活動】

ボランティア相談員 49名

平成29年8月27日 平成29年度福島県総合防災訓練（福島県警察機動センター）

平成30年2月2日 災害応援協定ネットワーク会議（県庁）

【災害協定・復興支援を含む協定書締結】

福島民友新聞株式会社（平成29年11月8日）

福島労働局（平成30年1月24日）

【自治体等への要請】

相馬市（平成29年11月16日）、二本松市・本宮市（平成30年1月18日）、

喜多方市（平成30年1月12日）、田村市（平成30年1月23日）、須賀川市（平成30年1月18日）

福島県社会福祉協議会（平成29年8月3日、平成30年3月9日）

福島民報（平成29年11月17日）

平成30年度

2018年4月～2019年3月

1. 事業再開・再生支援事業への協力

登録専門家 11名

支援依頼 13件 いわき市3件、南相馬市3件、浪江町3件、富岡町2件、
楡葉町1件、広野町1件

2. 無料相談会

無料相談会回数 176回

総相談件数 142件

協力会員 65名（延188名）

(1) 社労士会総合相談所の拡大

社労士会総合相談所（事務局） 50回（毎週水曜日） 相談74件

協力会員 13名（延62名） ※第4水曜日は、2名体制

いわき市役所 12回（第3火曜日） 相談9件

協力会員 9名（延12名）

【実績】（相談件数及び協力会員数）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
相談所	回数	4	5	4	4	4	4	5	4	4	4	4	4	50
	件数	8	8	4	7	7	6	6	7	6	5	5	5	74
いわき市役所	回数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	件数	0	1	1	1	0	0	0	1	1	2	0	2	9
協力会員延数		6	7	6	6	6	6	7	6	6	6	6	6	74

※第4水曜日は2名

(2) 行政機関等との連携（消費者庁「専門家派遣事業」）

相馬市 47回（毎週木曜日） 相談6件

協力会員 4名（延47名）

法テラス二本松 43回（毎週火曜日） 相談47件

協力会員 26名（延43名）

法テラスふたば 24回（第2・4木曜日） 相談6件

協力会員 13名（延24名）

【実績】（相談件数及び協力会員数）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
相馬市	回数	4	4	4	4	4	4	3	5	4	4	4	3	47
	件数	1	0	1	0	0	0	0	1	2	0	0	1	6
法テラス二本松	回数	4	4	4	4	4	2	4	4	3	3	3	4	43
	件数	4	5	7	3	3	2	4	3	4	5	6	1	47

法テラス	回数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
ふたば	件数	1	0	1	0	1	0	0	0	0	2	1	0	6
協力会員延数		10	10	10	10	10	8	9	11	9	9	9	9	114

3. 災害協定等締結の推進

【災害協定書締結】

二本松市（平成30年5月10日）、喜多方市（平成30年5月22日）

福島県社会福祉協議会（平成30年6月13日）

【災害協定書に基づく活動】

ボランティア相談員 63名

平成30年9月2日 福島県総合防災訓練（田村市運動公園）

平成31年1月25日 福島県災害時応援協定に基づく通信連絡訓練（事務局）

1月31日 福島県災害応援協定ネットワーク会議（県庁）

【自治体等への要請】

二本松市（平成30年5月7日）

令和元年度（平成31年・令和元年）2019年4月～2020年3月

1. 復興講演会の開催

令和元年5月25日（ふくしん夢の音楽堂 小ホール）

第1部 基調講演「福島の食と農を考える」

「食と農」から考える復興～福島大学食農学類の目指すもの～

講師 福島大学 食農学類 教授 小山 良太 氏

第2部 合唱 「福島の未来へエール！」

福島県立福島高等学校合唱部

福島県立橘高等学校合唱部

日本大学東北高等学校合唱部

参加者 185名（一般163名、会員等22名）

後援 18団体

広報 新聞広告 4月21日 広告掲載（福島民報、福島民友）

新聞告知 5月17日 告知依頼（福島民報、福島民友）

5月19日 告知掲載（福島民報）

5月22日 告知掲載（福島民友）

チラシ 89,950部作成

新聞折込 5月11日 福島市内 70,950部

会員、関係行政・団体等配布 14,230部

（福島市、伊達市、二本松市、桑折町、国見町、県北地区商工会、後援先等）

福島高校、橘高校、日本大学東北高校 3,500部

ホームページ バナー作成

福島中央郵便局 デジタルサイネージ広告

東京2020応援プログラム参画

日大東北高校



講師：
小山良太教授



橘高校



福島高校

2. 事業再開・再生支援事業への協力

登録専門家 11名

支援依頼 1件（南相馬市）

3. 無料相談会

無料相談会回数 173回

総相談件数 122件

協力会員 63名（延185名）

(1) 社労士会総合相談所の拡大

社労士会総合相談所（事務局） 49回（毎週水曜日） 相談65件

協力会員 10名（延61名） ※第4水曜日は、2名体制

いわき市役所 12回（第3火曜日） 相談15件

協力会員 9名（延12名）

【実績】（相談件数及び協力会員数）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
相談所	回数	4	4	4	5	3	4	5	4	4	4	4	4	49
	件数	5	7	9	5	0	5	4	5	6	10	6	3	65
いわき市役所	回数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	件数	0	0	3	2	4	2	1	1	1	0	0	1	15
協力会員延数		6	6	6	7	5	6	7	6	6	6	6	6	73

※第4水曜日は2名

(2) 行政機関等との連携（消費者庁「専門家派遣事業」）

相馬市 48回（毎週木曜日） 相談6件

協力会員 4名（延48名）

法テラス二本松 40回（毎週火曜日） 相談30件

協力会員 28名（延40名）

法テラスふたば 24回（第2・4木曜日） 相談6件

協力会員 12名（延24名）

【実績】（相談件数及び協力会員数）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
相馬市	回数	4	4	4	4	4	4	5	4	4	4	4	4	48
	件数	0	1	1	0	0	1	0	1	0	1	1	0	6
法テラス二本松	回数	4	3	4	4	3	2	3	3	4	3	2	5	40
	件数	7	5	5	2	0	0	0	4	1	0	2	4	30
法テラスふたば	回数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
	件数	1	0	0	0	0	0	0	1	3	0	1	0	6
協力会員延数		10	9	10	10	9	8	10	9	10	9	8	11	113

4. 災害協定等締結の推進

【災害協定書に基づく活動】

ボランティア相談員 68名

令和元年8月25日 会津若松市総合防災訓練（会津若松市立北会津中学校）

10月26日 福島県総合防災訓練（アクアマリンパーク）※台風19号被害のため中止

台風19号被害に対する支援（福島県、福島県社会福祉協議会）

令和元年10月18日 ホットライン（無料電話相談）の設置

台風19号被害に対する支援等の情報提供

協定締結市（福島市、二本松市、伊達市、郡山市、会津若松市、喜多方市、

いわき市、南相馬市、白河市）、本宮市、須賀川市、相馬市

新型コロナウイルス感染症による災害支援（福島県）

令和2年3月3日 ホットライン（無料電話相談）の設置

新型コロナウイルス感染症による災害支援に関する協定締結市への情報提供

福島市、郡山市、いわき市、会津若松市、喜多方市、伊達市、二本松市、

白河市、南相馬市

令和2年度

2020年4月～2021年3月

1. 事業再開・再生支援事業への協力

登録専門家 14名
 支援依頼 3件（南相馬市2件、いわき市）
 雇用調整助成金申請支援業務登録専門家 19名

2. 無料相談会

無料相談会回数 168回
 総相談件数 138件
 協力会員 53名（延180名）

(1) 社労士会総合相談所の拡大

社労士会総合相談所（事務局） 50回（毎週水曜日） 相談79件
 協力会員 9名（延62名） ※第4水曜日は、2名体制
 いわき市役所 12回（第3火曜日） 相談6件
 協力会員 10名（延12名）

【実績】（相談件数及び協力会員数）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
相談所	回数	4	3	4	5	4	5	4	4	4	4	4	5	50
	件数	4	7	7	4	5	10	5	5	6	8	9	9	79
いわき市役所	回数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	件数	1	0	0	0	0	2	0	2	0	0	0	1	15
協力会員延数		6	5	6	7	6	7	6	6	6	6	6	7	74

※第4水曜日は2名

(2) 行政機関等との連携（消費者庁「専門家派遣事業」）

相馬市 48回（毎週木曜日） 相談3件
 協力会員 4名（延48名）
 法テラス二本松 39回（毎週火曜日） 相談34件
 協力会員 20名（延39名）
 法テラスふたば 19回（第2・4木曜日） 相談7件
 協力会員 10名（延19名）

【実績】（相談件数及び協力会員数）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
相馬市	回数	5	4	4	4	3	4	5	4	4	4	3	4	48
	件数	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	3
法テラス二本松	回数	2	0	5	4	3	4	4	2	4	3	3	5	39
	件数	1	0	4	4	2	5	4	2	1	5	2	4	34

法テラス ふたば	回数	1	0	2	1	2	2	2	2	2	2	1	2	19
	件数	0	0	1	0	0	0	1	0	1	2	1	1	7
協力会員延数		10	8	4	11	9	8	10	11	8	10	9	7	106

※新型コロナウイルス感染症のため法テラス二本松の4～5月6回 法テラスふたばの4～5月3回は中止
 ※新型コロナウイルス感染症のため相馬市の4～5月は電話相談

3. 災害協定等締結の推進

【災害協定・復興支援を含む協定書締結】

株式会社ラジオ福島（令和2年5月1日）

【災害協定書に基づく活動】

ボランティア相談員 59名

新型コロナウイルス感染症による災害支援（福島県）

ホットライン（無料電話相談）の継続設置

新型コロナウイルス感染症による災害支援に関する協定締結市への情報提供
 福島市、郡山市、いわき市、会津若松市、喜多方市、伊達市、二本松市、
 白河市、南相馬市

4. 講演会

令和2年6月27日（Jヴィレッジホテル）に予定するが、新型コロナウイルス感染症の感染防止のため延期とする。

令和3年5月30日（いわきワシントンホテル椿山荘）にあらためて開催を予定するが、福島県独自の非常事態宣言発令を受け、5月14日に中止を決定した。

**福島県社会保険労務士会
東日本大震災復興支援事業**

開催内容
 第1部「古代エジプト文明の魅力」
 第2部「フラガールのふるさとからエール」

日時 令和3年5月30日(日) 午後1時30分～4時30分

場所 いわきワシントンホテル椿山荘
（同ホテル研修室）
 いわき市平塚一丁目1 TEL:0246-365-3000

内容
 第1部「古代エジプト文明の魅力」
 講師 学校法人昌平学院国際大学総長
 エジプト考古学者 吉村 作治氏
※オンライン講演になります

第2部「フラガールのふるさとからエール」
 フラダンス 福島県立好間高等学校、福島県立平商業高等学校、福島県立湯本高等学校

参加費 無料
参加申込書またはホームページよりお申込みください。

申込方法 FAX 024-534-5432
 ホームページ <https://fukushima-sr.jp>

定員 200名
（オンライン参加）
定員になり次第締め切ります。

主催 福島県社会保険労務士会 TEL:024-8252 福島市御山守三本松19-3
 TEL:024-536-4430 FAX:024-534-5432

後援
福島労働会、福島県労働者連合会、いわき市、（公）いわき市青年会連合会、広野町、福島県、郡山市、田代町、大原町、双葉町、新江崎町、楳町、津町、福島県立総合支援センター、福島県立図書館、福島県立短期大学、福島県立音楽院、福島県立文化センター、福島県立健康センター、福島県立生涯学習センター、福島県立生涯学習センター、福島県立生涯学習センター

※新型コロナウイルス感染症の感染防止のため会場は定員の半数以下の人数とし、マスク着用、手洗いの徹底、検温等、感染防止に万全を期して開催します。

東日本大震災復興支援事業 参加申込書

お名前		代表者連絡先（電話番号）	
参加方法	会場、オンライン（Zoom）※後日メールアドレスにオンライン参加URLを送ります。		
	オンライン参加の場合メールアドレス（ <input type="text"/> ）		
個人情報の取り扱いについて、募集の目的以外に利用することはありません。 <input type="checkbox"/> 個人情報の利用目的に同意します			

※4名以上の応募込みの場合は、コピーしてお持ちください。